



# Azure App Service

2023/6/21

App ServiceはPaaS（Platform as a Service）であり、IaaS（Infrastructure as a Service）に比べて、より多くの機能が提供される。



Azure App Service  
PaaS

OSの管理：不要

言語ランタイム：インストール不要  
.NET/Java/Python/JavaScriptなど

スケーリングと負荷分散：組み込み

バックアップ：組み込み



Azure仮想マシン  
IaaS

OSの管理：必要

言語ランタイム：インストール必要

スケーリングと負荷分散：運用が必要

バックアップ：運用が必要

App Serviceでは、「App Serviceプラン」と「App Serviceアプリ」というリソースを使用して運用する。  
1つのプランでは複数のアプリを運用できる。料金はプランに対して発生する。



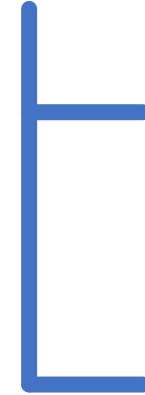
App Serviceプラン



App Serviceアプリ



App Serviceプラン



App Serviceアプリ



App Serviceアプリ

App Serviceプランを作成する際に「価格レベル」を選択。  
これにより、性能や、使用できる機能が変化し、料金も変わる。



価格レベル:  
Basic



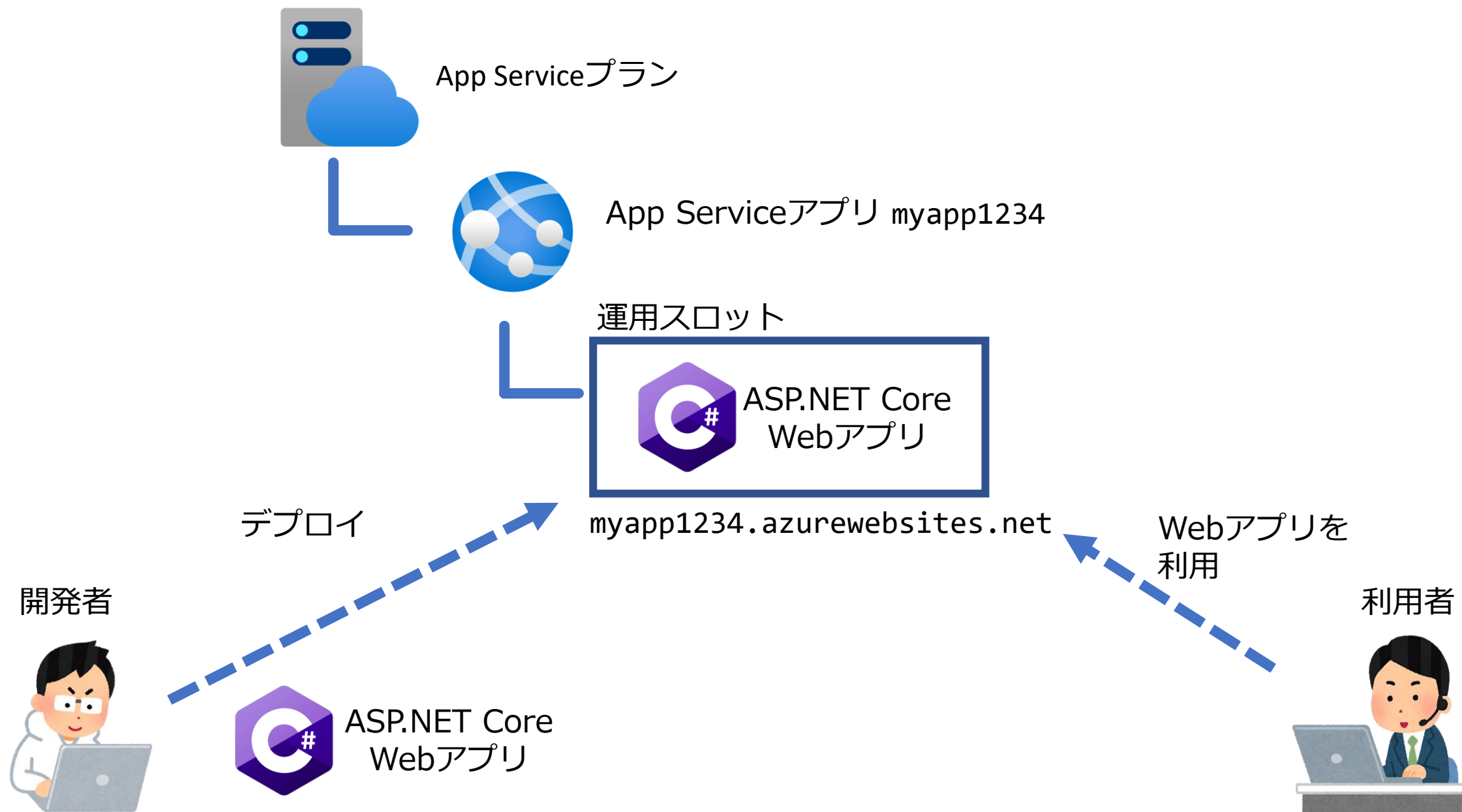
価格レベル:  
Standard



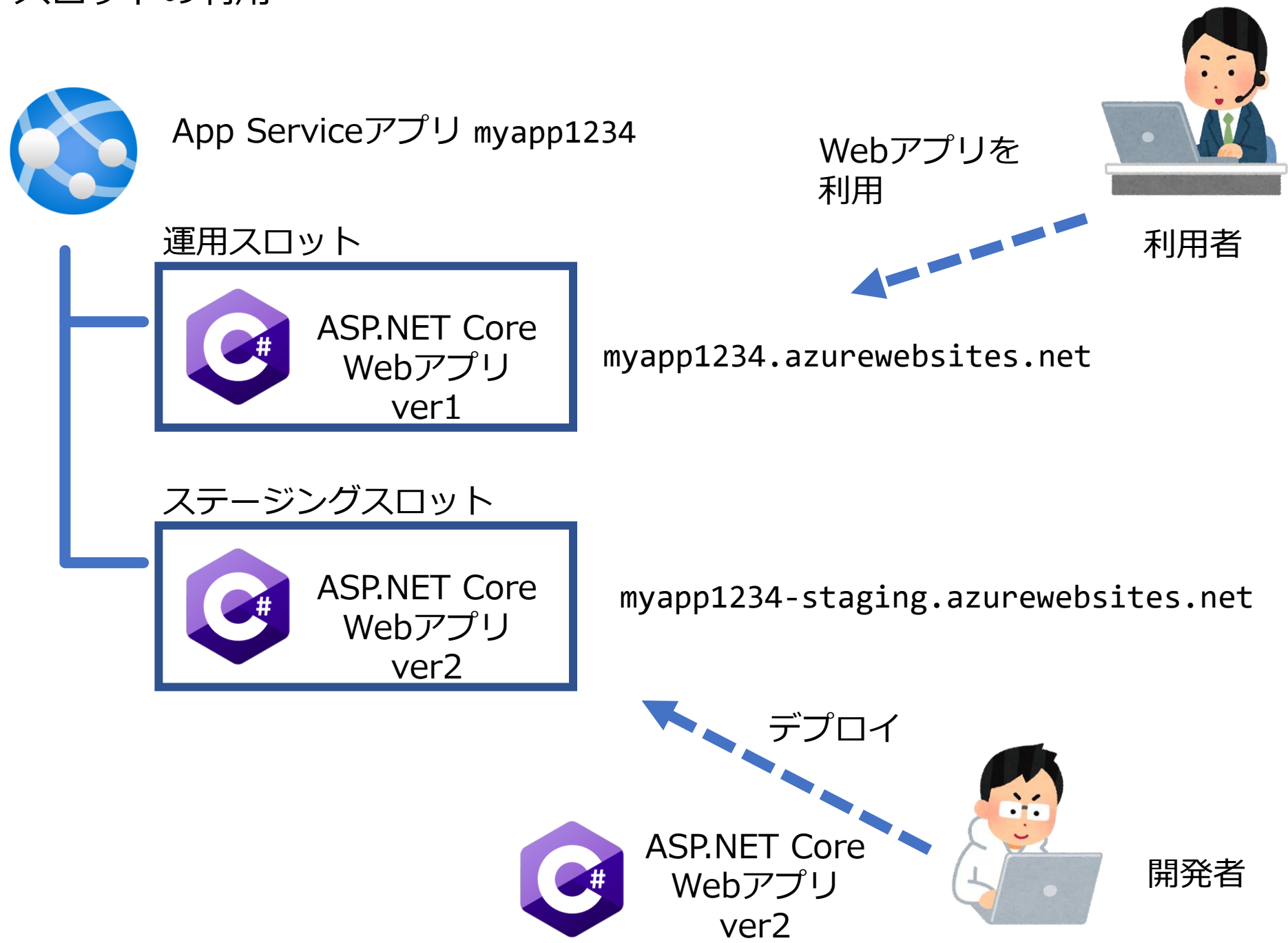
価格レベル:  
Premium

最大インスタンス数	最大 3	最大 10	最大 30*
カスタム ドメイン	サポート対象	サポート対象	サポート対象
自動スケール	–	サポート対象	サポート対象
ハイブリッド接続	サポート対象	サポート対象	サポート対象
仮想ネットワーク接続	サポート対象	サポート対象	サポート対象

アプリには「運用スロット」と呼ばれる場所があり、そこにアプリをデプロイする



# ステージングスロットの利用



# スワップを実行

